



本郷小だより

第5号



夢をめざし ともに育つ 本郷っ子 ~未来を切り拓く子に~

令和 6 年 9 月

校長室から

中秋の名月

校長 小松 鉄治

中秋とは旧暦の8月15日のこと。旧暦の秋のちょうど真ん中で、1年間で最も美しい月が見られると言われています。空気が澄んで月がひときわ輝いて見え、見上げる月の高さも程よいのだそうです。竹取物語のかぐや姫が月へ帰ったのもこの日のようです。今年の中秋の名月も神秘的に輝いていて、よく目を凝らせば、月へ帰るかぐや姫の姿が見えるのではないかと思ったほどです。

さて、詩人で書家の“相田みつを”さんは「美しいものを美しいと思えるあなたの心が美しい」という言葉を残されています。私は教師として、長年この考え方を大事にしてきました。勝手に解釈を広げて、「汚いものを汚いと思える」「よくないことをよくないと思える」「正しいことを正しいと思える」等、当たり前感覚をもっていれば、当たり前の意識が育って、当たり前の行動がとれるようになるんだよと機を見て子どもたちに伝え続けました。

小学校は、その当たり前を学ぶ最適な場と考えます。生まれや育ちが違い、価値観の違う子どもたちが、たまたま同じ学校、同じ学年、同じ登校班、同じ縦割り班、…になり、協力や衝突、譲り合いやすれ違いを通して、自分たちなりの「当たり前」を生み出し、育てていくのです。

ずいぶん涼しくなり、何をするにも良い季節となりました。
子どもたちの健全な成長に、引き続きお力をお貸しください。



【写真】算数の学習に、自分なりに懸命に取り組む“とても美しい”1年生の姿です。

論語をよむ ~孔子の教え~



出典 論語章句集 (岡山県教育委員会)

そうし い ふうし みち ちゅうじょ
曾子曰わく、夫子の道は、忠恕のみ。

○曾子の言葉。「私たちの先生である孔子は、この世の中で人と人とは気持ちよく生きていく上で一番大切なものとは、まごころから出た思いやりであることを、ずっと変わらず私たちに説きつづけられました」

☆「忠恕」とは何でしょうか。「忠」とは、真心。「恕」とは、思いやりです。

つまり「忠恕」とは「真心からでた思いやり」ということになります。

お互いを思いやることができれば、悪意あるいたずら・いじめはもちろん、世界的な課題である環境・食糧・エネルギー問題などにも、解決の道が開かれるでしょう。住みやすい世の中になるに違いありません。



